

地域活動と大学の連携

中山間地域

現 状

- ・ 農業生産に不利な地形
- ・ 人口減少
- ・ 高齢化
- ・ 担い手・労働力不足
- ・ 鳥獣被害

課 題

- ・ 集落の活気が薄れ、地域活動の衰退が懸念。
- ・ 地域の農業や特産品づくりの後継者が不足し、地域産業の継続が困難になるおそれ。



農業体験や援農ボランティア等、地域で活動に取り組むが・・・

- ・ 地域内の人材不足
- ・ 参加者が少ない
- ・ 広報が不得手
- ・ 天候に左右される



仙台大学

理 念

仙台大学では、学生支援センター内にボランティアセンターを設置し、社会貢献や福祉に対する意識向上を目的に学生のボランティア参加を推進しています。また、ボランティア活動の単位認定も行っており、大学全体でボランティア活動を支援しています。

取 組 み

高齢者・障害児者・児童・スポーツ・レクリエーション等、さまざまなボランティア活動に幅広く取り組んでいます。

今回は、丸森町で干し柿づくりの援農ボランティアに参加。収穫作業や農作物の運搬など、力仕事がたくさん！



← 足場の悪い斜面での収穫作業

収穫した農作物の
仕分けや運搬 →



- ・ 地域産業の労働力確保
- ・ 若者や都市部との交流機会増加



—— 地域活動・地域産業の継続

- ・ 授業以外の体験
- ・ 将来に向けての社会奉仕
- ・ 農業の現状を知る機会
- ・ 多様な年代の人との交流
- ・ 地域の特産品に触れる



—— さまざまな学び・自己啓発につながる

自分で収穫すると、いつもより美味しい！

交流が毎年のたのしみ

普段できない体験ができる！

食べ物の尊さを実感

元気をもらえる

力仕事が多いので、とても助かっている

農家さんが優しくあたたかい！

